

2008年(平成20年)10月3日(金曜日)

画面クリックで環境保護

ユニテッド・ピープル、ヤフーとサイト

情報システム開発ベンチャーのユニテッド・ピープル(横浜市、関根健次社長)は、ヤフーと連携してクリックするだけで環境保護に貢献できるサイトを開設した。広告を一回クリックするごとに一円が植林や発展途上国の支援の原資として使われる仕組み。寄付金は広告主が負担する。

1回1円、広告主が負担

面が出る。クリックすると別画面で広告主のサイトを表示。各募金には毎月の目標募金額が設定され、一カ月の目標額に達すると月が変わるまで募金できない。広告主は募金を負担する代わりに自社サイトのアクセス数を増やせる利点がある。現在は大京やベッド製造のシーリージャパン(東京・港)など四社が広告主になっている。「年末までに三十社に増やし、月間三百万円の募金額を目指す」(関根社長)という。